

社会福祉協議会 川和地区だより第10号

平成 25 年 5 月 25 日

あいさつ・・・

川和地区社会福祉協議会会長立元道彦

日頃、川和地区社会福祉協議会の活動にご協力賜り、大変有難うございます。さて当協議会では、川和地区のボランティア活動を活性化するために、川和地区ボランティアセンターを、立ち上げる準備を、本年度から開始したいと思っております。そして来年度にはセンターを立ち上げ活動を開始できるようにと思っております。当センターの構想は、ボランティア活動をしたい方、又できる方を広く集めて登録をします。並びにボランティアを求めている方の要望も広く集め、当センターがそれぞれを合致させ、要望に応じて人材を派遣し、ボランティア活動を活性化しようと言うものです。東日本大震災のときのボランティア活動もその地区の社会福祉協議会が窓目的役割を果たしたと聞いています。当社協も大災害にそなえるために準備を一步でも進められればと思っております。

この構想を実現するには、皆様のご協力とご理解が、何より必要になります。是非とも多くの方々のご協力とご賛同をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

社会福祉協議会とは？・・・

社会福祉協議会は、「社協(しゃきょう)」といいます。社協は、社会福祉法第109条にもとづき、地域福祉の推進を図ることを目的に組織されている民間団体です。川和地区連合町内会、民生・児童委員等さまざまな団体などが会員となり、知恵と力を出し合って支えられています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができることをめざし、人と人との「であいささえあいわかちあい」のまちをつくることを基本理念としています。社協は、このようなまちになるよう、1)地域の皆さまと社協が、一緒になって地域福祉活動に参加し、福祉のまちづくりを実践します。2)地域の皆さまの力が十分に発揮できるように、さまざまな地域福祉活動を支援します。の2つを目標として地域福祉関係事業を推進しています。

平成25年度予算及び事業計画・・・

今年度の予算と事業の計画は次のとおり予定しています。

【収入の部】単位:万円

繰越金 28、市社協補助金 5、区社協補助金 12、賛助会費還元金 28、川和連合助成金 25 参加費等収益金(食事代)23 等の合計約 120

【支出の部】単位:万円

一人暮らしの高齢者昼食・おたのしみ会 26、障害者支援・リハビリ教室 8、地域ボランティア活動助成 10、子育て支援・遊びの広場活動助成 3、敬老の日お祝い金 6、調査広報 17、研修費等 22、事務通信費等 10、予備費 19 の合計約 120

平成25年度川和地区社会福祉協議会の代表理事は次の方々です。よろしくお願ひします。

会 長	立元 道彦	川和台自治会相談役
副会長	久保 勝治	川和台自治会会長
〃	小川 規子	川和地区民生・児童委員協議会会長
事務局	山口 明	川和地区民生・児童委員（都筑が丘第二）
会 計	根本 幸雄	川和地区民生・児童委員（川和町）
〃	原佐 智子	元川和地区民生・児童委員(都筑ヶ丘住宅)
監 事	前田 和廣	川和町町内会会長
〃	嶋原勝比古	都筑ヶ丘住宅自治会会長
理 事	平澤 満男	都筑が丘第二自治会会長
〃	柳下 靖子	川和団地自治会会長
〃	川上 直樹	二の丸自治会会長
〃	中山 正美	川和連合町内会総務
〃	鮫嶋 清	川和連合町内会相談役

賛助会員加入のお願い・・・

『平成25年度予算案と事業計画』の【収入の部】でも明らかなように収入の1/4が賛助会還元金です。また賛助会費の50%が各地区社会協議会の収入となります。賛助会員に加入して頂く事が、川和地区の社会福祉の活動を援助して頂く事になります。

6月には皆さまに詳細の案内を送付させていただきますので、ご協力をよろしくお願ひ致します。

川和地区社会福祉協議会事務局からのお知らせ・・・

永年、川和地区社会福祉協議会事務局をやっておられた青木周造さんがこの度退任されました。後任として山口明(都筑が丘第二)が拝任しました。今年1年事務局として頑張っていく所存ですので、皆さまのご支援・ご鞭撻を宜しくお願ひ致します。

〈連絡先;090-2456-1141 山口(やまぐち)〉